

第1章 操作コマンド 1

1. 日常操作コマンド	1
ADDLIBLE ライブラリー・リストへの追加	1
CALL プログラムの呼出し	2
CHGJOB JOBの属性の変更	2
CVTRPGSRC RPG-400からILE-RPGへ変換	3
DSPMSG メッセージ表示	4
GO POWER 電源オン/オフ関連のメニュー表示	4
GO LICPGM ライセンス・プログラムのメニュー表示	4
PWRDWN SYS パワーダウン	4
SBMJOB ジョブのサブミット	5
SNDMSG メッセージ送信	5
SNDBRKMSG 中断メッセージ送信	5
STRPASTHR パススルー開始	6
WRKACTJOB 活動ジョブの処理	6
WRKCFGSTS 構成状況処理	7
WRKDEVD 装置記述の処理	7
WRKDSKSTS ディスク状況処理	7
WRKJOB ジョブに関する処理	8
WRKOUTQ 全ての出力待ち行列の処理	8
WRKOUTQ QPRINT 出力待ち行列QPRINTの処理	9
WRKSBMJOB バッチ投入ジョブの処理	9
WRKSPLF スプール・ファイル処理	9
WRKSYSSTS システム状況の処理	10
WRKWTR 書出しプログラムの処理	10
実行の強制停止	11
2. システム開発・保守関連	12
ADDPFM 物理ファイルメンバー追加 (→RMVM)	12
CALL プログラム呼出し	12
CALLPRC 結合プロシージャの呼び出し	12
CHGJOB ジョブの変更	12
CHGPF 物理ファイル変更	13
CHGPFM 物理ファイルメンバー変更	13
CLRPFM 物理ファイルクリア	13
CMPPFM ファイルの比較	13
CPYF ファイルのコピー	13
CPYFRMSTMF ストリームファイルからDBファイルへのコピー	14
CPYSRCPF ソースファイルのコピー	14

CPYTOSTMF	DBファイルからストリーム・ファイルへのコピー	14
CRTBNDCBL	ILE-COBOLのコンパイル	15
CRTCPLPGM	CLプログラムのコンパイル	15
CRTCMD	ユーザーコマンドの作成	15
CRTDSPF	画面ファイルの作成	15
CRTDTAARA	データ域の作成	15
CRTLF	論理ファイルの作成	15
CRTPF	物理ファイルの作成	16
CRTPGM	モジュールから実行プログラムの作成	16
CRTPRTF	印刷ファイルの作成	16
CRTRPGMOD	RPG-IVのコンパイル	16
CRTRPGPGM	RPG-IIIのコンパイル	17
CRTSQLRPGI	SQLステートメントを含むRPGソースのコンパイル	17
CVTRPGSRC	RPGIIIをRPGIV (ILE-RPG) に変換	17
DLTDTAARA	データ域の削除	17
DLTF	ファイル削除	17
DLTOVR	一時変更取消	18
DSPDBR	データベース関係表示	18
DSPDTA	DFUプログラムによるデータの表示	18
DSPDTAARA	データ域の表示	19
DSPFD	ファイル記述の表示	19
DSPFFD	ファイル・フィールド記述表示	19
DSPOBJD	オブジェクト記述の表示	20
DSPOVR	一時変更表示	20
DSPPFM	物理ファイルメンバー表示	21
DSPPGMREF	プログラム参照表示	21
EDTLIBL	ライブラリー・リスト編集	22
ENDDBG	デバッグモード終了	22
ENDS36	S/36エミュレーション・モードを終了	22
OVRDBF	データベース一時変更	22
OVRPRTF	印刷ファイルの一時変更	23
RCLACTGRP	リサイクル活動化グループ	23
RCLRSC	資源再利用	23
RGZPFM	物理ファイル・メンバー再編成	23
RMVM	メンバーの除去	23
RTVCLSRC	CLソースの復元取得	23
RTVJOBA	ジョブの属性の取得	24
RTVMBRD	メンバー記述の取得	24
RUNQRY	定義済みQUERYプログラムの実行	24

SLTCMD	コマンドの選択.....	25
STRDBG	デバッグ開始.....	25
STRDFU	データ・ファイル・ユーティリティー (DFU) の開始.....	25
STRPCO	クライアント・アクセス・オーガナイザーの開始.....	26
STRPCCMD	PCコマンドの実行.....	26
STRPDM	プログラム開発管理機能 (PDM) ユーティリティー開始.....	26
STRISDB	対話型ソース・デバッガーの開始.....	26
STRQRY	QUERY開始.....	27
STRRLU	報告書設計ユーティリティ (RLU) 開始.....	27
STRSDA	画面設計援助 (SDA) ユーティリティーの開始.....	27
STRSQL	SQL対話式セッションの開始.....	27
STRS36	システム / 36 環境セッション開始.....	27
UPDDTA	一時プログラムでのデータ更新.....	28
WRKUSRPRF	ユーザー登録の処理.....	29
	実行の強制停止.....	29
3. 保管・復旧.....		30
CRTSAVF	保管ファイル作成.....	30
DSPLIB	ライブラリーの内容表示.....	30
DSPTAP	テープ内容の表示.....	30
INZTAP	テープの初期化.....	30
SAVLIB	ライブラリーの保管.....	31
SAVOBJ	オブジェクトの保管.....	31
RSTLIB	ライブラリーの復元.....	31
RSTOBJ	保管されたオブジェクトの復元.....	32
4. 環境設定.....		33
CHGJOBQE	ジョブQ待ちの変更.....	33
CHGSYSVAL	システム値の変更.....	33
CLRLIB	ライブラリーのクリア.....	33
CRTLIB	ライブラリーの作成.....	33
CRTSRCPF	ソースファイル作成.....	33
DLTLIB	ライブラリー削除.....	34
DSPSYSVAL	システム値の表示.....	34
GOPOWER	電源オンおよび電源オフ・タスク.....	34
RTVCLSRC	CLソースの復元取得.....	34
WRKDEV D	装置記述の処理.....	34
WRKCFGSTS	構成状況の処理.....	35
WRKSYSVAL	システム値の変更・表示の処理.....	35
5. ASとPCのデータ交換.....		36
1) データベースファイルの交換.....		36

2) ストリームファイルの交換	38
3) F T Pを利用したファイルの交換	40
第2章 制御言語プログラム.....	42
1. プログラムの一般形と構成要素	42
1) プログラムの一般形	42
2) コマンド文	43
3) 注釈	44
2. ファイルの定義	45
3. 変数の定義	47
1) 外部定義の変数名	47
2) プログラム定義の変数名	47
3) 式	48
4) 関数	48
5) 擬似変数	48
4. 各種コマンド	49
1) 割付と演算	49
2) 実行制御	50
3) ファイル入出力	51
4) エラーの処理	52
5) C Lでのパラメータの授受	53
6) C Lプログラムの呼出し	53
5. C Lプログラムのサンプル	54
1) 朝一番プログラム	54
2) マルチジョブの制御	55
3) メニュー処理プログラム	58
4) 全メンバー記述の取得処理	61
5) P CファイルからA S / 4 0 0へデータの転送	64
6) データベースファイルのエクスポート / インポート	66